

議員定数に関する正副委員長ヒアリング結果概要

日時 2012年6月14日 自 10時 至 15時半
対象 各常任委員会及び広報広聴委員会正副委員長 10名

定数について

現状でほぼ適正

定数は維持し報酬で削減の方が望ましい

定数削減を公約した

定数と報酬の双方の削減を公約した。

定数、報酬の見直しは公約には含めなかった

前期に欠員で33名だったこともあるので、33、4名に削減と公約

選挙時には大幅減の公約をしたが、その後地域住民の声を反映する仕組みの整備が遅れていることなどを考慮すると、すぐに大幅削減は望ましくない。

人数は明示せず削減を公約した。現在は33名が適当と考えている。

多様性の確保のためにはある程度の人数は必要だが、多すぎると議論をしづらくなる面もある。現状程度が適正ではないか。

「市民受け」のみを狙った定数削減は望ましくない。

削減しすぎると選挙での競争が激しくなり、選挙目当ての議員活動をする傾向が生じないかが心配である。

働く議会であれば定数はある程度多くて良いのではないか。

地域などの多様性との関係

人口が少ない地区からはあまり削減すると議員が選出できない

現実には人口が少ない地区からの議員が少ないとは限らない

行政区11、小学校区32、中学校区15などを考慮すると、30程度は必要。

多様性の確保のためにはある程度の人数が必要

地域の多様性を考えると、削減するとしても4名程度が限度ではないか

色々な階層から議員が出るべき。あまり削減しすぎるとそれを阻害する面があるのではないか。

議員の中から多様な意見を聞くことで発見があり、気づかなかった論点に気づくなどのメリットが大きい。

常任委員会数との関係

常任委員会数は現状の4が適切

常任委員会をより細分化しても、それだけの専門性を議員がもてないのが現状ではないか。

1 常任委員会は8名でも問題はないと考える

前期に8名の常任委員会と9名の常任委員会があったが、議論の多様性や活発さに若干の影響は出ると感じた。9名がベター。

削減するとすれば1常任委員会1名減、議長を加え33名か。

前期の欠員状態の評価

特に問題はなかったので、定数を33名まで削減しても大丈夫と判断

常任委員会に8名の委員会ができたが、9名とは若干差を感じたので、1委員会9名を維持すべき。

人口との関係

人口1万人あたり1人程度の定数が適切ではないか。

今後若干なりとも人口増の可能性もあり、現時点であまり減らしてしまうと人口増に見合う定数増ができないのではないか。

事務局強化について

現状ではかなり過酷な勤務となっており、強化は必要

現状でちょうど良いのではないか

事務局の価値を高めるべき